

マダニにかまれないよう 注意しましょう!

マダニの活動が活発になるのは春から秋にかけてです。
森林、草むら、やぶ等に入る場合には、十分注意することが必要です。



● 予防のポイント ●

- 草むらや、やぶなどに入る場合には長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- 野外活動後は、マダニにかまれていないか確認しましょう。もし、吸血中のマダニを見つけた場合は、医療機関で処置してください。

マダニ (写真はフタトゲチマダニ)



主に草むらや、やぶなどに全国的に生息する体長3~4ミリの比較的大型のダニです。家庭内の食品や衣類・寝具等に生息するダニとは種類が異なります。



吸血中のマダニ

マダニにかまれたことにより 感染する病気

マダニにかまれた後、次の症状があった場合は、早めに医療機関で診察を受けてください。

● 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

SFTSウイルスを保有しているマダニにかまれることにより感染する病気で、主な症状は発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)で、重症化し、死亡することもあります。感染してから6日~2週間で発症します。

● 日本紅斑熱

感染してから2~10日で発症します。主な症状は発熱(高熱)や頭痛、関節

■ 県内の主な相談先

保健所名	電話番号
松江保健所	0852・23・1317
雲南保健所	0854・42・9515
出雲保健所	0853・21・1185
県央保健所	0854・84・9805
浜田保健所	0855・29・5556
益田保健所	0856・31・9552
隠岐保健所 (島後)	08512・2・9715
隠岐保健所 (島前)	08514・7・8121

痛、体幹部や手足の発疹で、死亡することもあります。

※マダニではありませんが、ダニの一種であるツツガムシによって媒介される「つつが虫病」などもあります。症状は日本紅斑熱とよく似ており、感染してから5日~2週間で発症します。

■ お問い合わせ先 ▶ 薬事衛生課 ☎0852・22・5254